

報道関係各位

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

オンプレミスのインフラ環境をサービス提供 従量課金制と運用の自動化でコストの最適化や作業の省力化を実現

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社(代表取締役社長:柘植 一郎、本社:東京都港区、略称:CTC)は、オンプレミスの IT インフラ環境をサービスとして利用できるソリューション「Hybrid Consumption Infrastructure」を本日から提供します。社内システムとしてのセキュリティレベルを保ちながら、運用の自動化によりクラウドと同等の利便性があるソリューションです。

ヒューレット・パカード エンタープライズ(以下:HPE)の従量課金制のオンプレミス環境「HPE GreenLake cloud services」とレッドハット株式会社(代表取締役社長:岡 玄樹、本社:東京都渋谷区、以下:レッドハット)の自動化プラットフォーム「Red Hat Ansible Automation Platform」を独自にパッケージ化しました。価格は月額 150 万円(税抜)からで、コストの最適化や高いセキュリティが求められる金融業や製造業のお客様を中心に提供し、3年間で10社の受注を目指します。

近年でも企業は、機密性の高い個人情報や知的財産などのデータを取り扱うシステムをオンプレミスで構築する傾向がありますが、クラウドとの比較で、各種の機材に掛かるコストの最適化や、環境構築、運用、メンテナンスなどの作業の効率化が求められています。

今回提供する Hybrid Consumption Infrastructure は、オンプレミス環境でありながら従量課金制でサービスとして IT インフラが利用でき、自動化ツールによりクラウドと同等の利便性があるソリューションです。最小構成で3台の HPE ProLiant DL380 に VMware vSphere をインストールし、従量課金制の利用を可能にするオンプレミス環境 HPE GreenLake cloud services としてお客様の設備環境に設置します。インフラ構築の自動化プラットフォーム Red Hat Ansible Automation Platform も組み込んでおり、サーバやストレージ、仮想化ソフトウェア、ネットワーク機器の設定を自動化するプログラムを CTC が作成することで、構築作業の省力化が実現できます。また、VMware 社の仮想環境を AWS で運用する VMware Cloud on AWS とも連携し、オンプレミスと同じ環境を AWS 上で構築することで、DR(ディザスタリカバリ)の対応を含めたハイブリッド型のクラウドサービスが実現できます。

本ソリューションは使用量に応じた月額課金となるため、お客様はインフラ構築時の初期費用を抑えることが可能です。

CTC は、大規模なオンプレミス環境やマルチクラウドのシステム構築で長年培ったノウハウをベースに、今後もサービス拡充を実施し、お客様のコストの最適化と業務効率化に貢献していきます。

※ Red Hat および Ansible は、米国およびその他の国における Red Hat, Inc.およびその子会社の商標または登録商標です。

※ 記載されている商品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

※ 掲載されている情報は、発表日現在の情報です。最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。

以上

<報道機関からのお問い合わせ先>

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 広報部

E-mail: press@ctc-g.co.jp